資料 5

令和2年8月11日

# ○計画策定の概要

く 基本理念 : いきいき長寿都市宣言 > いつまでも健康で生きがいを持ち、安心して生活できる社会を目指して上記を理念として、以下の工程で計画を策定する

#### 1 現状の把握と分析

各種調査(※)の結果から、函館市の高齢者の心身の状況や置かれている環境、介護サービスの提供体制等について把握し、分析する。

(※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査, 在宅介護実態調査など)

### 2 課題の抽出

1の分析結果から得られた問題点を改善するため,我々が取り組むべき課題を抽出する。

## 3 取組みの基本方針等の設定

2で抽出した課題の一つ一つを、ある程度、普遍的な基本方針等としてまとめるとともに、それに対応する具体的な施策を定める。

#### 4 成果指標の設定

問題点の改善に向け、進捗状況を確認することができるよう、3で定めた施策や各種調査の結果に基づき、目標値を設定する。

### いきいき長寿都市宣言

憲法にうたわれている基本的人権が尊重され、いつまでも生きがいを持ち、健やかに暮らせる社会を築くことは、わたくしたち函館市民みんなの願いです。

美しい自然に恵まれ、何よりも福祉を大切にするこのまちに、共に力を合わせて、心から 長寿を喜び合えるまち函館を実現することをめざし、ここに「いきいき長寿都市」を宣言し ます。

- 1 長い間社会の発展に尽くしてきた高齢者が、敬愛され、尊重されるまちをめざします。
- 1 豊かな知識と経験をもった高齢者が、社会の一員として自らいきいきと活動できるまちをめざします。
- 1 家庭の安らぎと地域の温かさに包まれて暮らせるやさしいまちをめざします。
- 1 生活をより豊かにする保健、医療、福祉などが充実され、いつまでも健康で安心して暮らせるまちをめざします。
- 1 だれもがひとしく憩い、集い合う安全で快適に暮らせるまちをめざします。

(平成6年12月10日)

函館市の現状	分 析	課題	]	基本方針	基本	施策	成果指標	個別施策
ET MT 11 07-20-07	)J 101	DA AGE		쓰자기회		施策目標	从不归地	
【高齢化率】(H27国勢調査) 本市 32.4% 全国平均 26.6% 【高齢者のみの世帯】(H27国勢調査) 本市 全国平均 独居 16.3% 11.1% 夫婦 13.1% 12.0% 【家族・親族との交流状況】(H28ニーズ。調査)	・少子高齢化の進行に伴い、総世帯数に 占める高齢者の独居世帯、高齢者のみ の世帯の割合が高く、家族や友人、知人 との交流の機会が少ない人が多い	・地域における高齢者の相談・支援・見守り 体制の充実 ・多様な関係機関との連携の強化			<ol> <li>共に支え合う地域づくりの推進</li> </ol>	・多様な人々の支え合いによる地域社会の実現を目指します ・支援を必要とする人へ早期に介入し適切な支援を行います	H31 < H28 (7.5%) 指標2:地域ケア会議への参加者数(増加) H32 > H28 (1,454人) 指標3:地域包括支援センターの相談・対応件数(増加)	(1)地域包括支援センターの機能強化 (2)地域包括支援センターにおける効果的な事業の実施 (3)地域ケア会議の推進 (4)高齢者の日常生活支援体制の充実・強化 (5)高齢者虐待防止の推進 (6)地域における見守り活動の推進 (7)介護に取り組む家族等への支援の充実
月に1回以下またはほとんどない       非認定者 20.0%         要支援者 23.5%         【主な介護者の就労継続の可否に係る意識】 (在宅介護実態調査)	・主な介護者の3割以上が就労継続に問題を抱えている	・地域における互助体制の拡大		I 地域の支え合いの 推進		・切れ目のない在宅医	H32>H28(17,876件/延) 指標4:養護者による高齢者 虐待件数(減少) H32 <h28(27件)< td=""><td>(8)高齢者在宅福祉サービスの充実 (9)福祉コミュニティエリアの整備 (1)在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討</td></h28(27件)<>	(8)高齢者在宅福祉サービスの充実 (9)福祉コミュニティエリアの整備 (1)在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討
・問題はあるがなんとか続けている 30.6% ・続けていくのは難しい、かなり難しい 5.7%					2 在宅医療·介護連携の 推進	療・介護の提供体制の 構築に向けた取組を推 進します	指標5:多職種連携研修参加機関数(増加) H32>H28(361機関)	(2)医療・介護連携支援センターの機能の充実
【認知症高齢者】(介護保険課データ) H26 11.9% → H29 12.3%(推計) 【介護者が不安に感じる介護】(H28ニーズ調査) 認知症状への対応 49.5%	・認知症高齢者が増加している ・認知症状への対応に不安を抱えている 介護者が多い	<ul><li>・認知症高齢者への支援体制の確立</li><li>・認知症高齢者等の家族支援体制の強化</li><li>・認知症の重度化の防止</li></ul>			3 認知症高齢者等支援 の充実	・認知症高齢者等と家族を支える地域づくりに 取り組みます	指標6:認知症地域支援推進 員の人数(増加) H32末 13人>H28末 3人	(1)知識の普及と理解の促進 (2)認知症高齢者等と家族の支援体制の強化 (3)医療・介護・地域連携による適時・適切な予防・支援の推進 (4)成年後見制度の利用促進
【昨年に比べ外出の回数が減っている】         (H28ニーズ調査)         非認定者 25.1% 要支援者 65.9%         【要介護・要支援認定者】(H28介護保険データ)         本市 全国平均         認定者数 22.2% 18.0%	・昨年に比べ外出する頻度が減っている	・自立のための介護予防, 重度化防止の取 り組みの強化			4 介護予防・健康づくり による自立の推進	・高齢者が主体的に身 近な場所で介護予防, 健康づくりに取り組む環 境を整え、自立を支援し ます	指標7:介護予防事業の参加 者数(増加) H32>H28(7,487人/延) 指標8:新規の要介護者2以 下の認定者数割合(高齢者数 比)(低下) H32 <h28(2.9%)< td=""><td>(1)介護予防事業の普及・啓発 (2)地域の主体的な介護予防事業の支援 (3)地域リハビリテーションの推進 (4)高齢期の健康づくり・疾病予防の推進</td></h28(2.9%)<>	(1)介護予防事業の普及・啓発 (2)地域の主体的な介護予防事業の支援 (3)地域リハビリテーションの推進 (4)高齢期の健康づくり・疾病予防の推進
要介護2以下の認定者数     15.0%     11.7%       【会・グループ等へ参加していない高齢者】(H28ニーズ調査)     非認定者 42.2% 要支援者 55.5%       【生きがいが特に思いつかない高齢者】(H28ニーズ調査)       非認定者 32.5% 要支援者 40.0%	高齢者が多い ・会, グループ等へ参加していない高齢者が多い	・高齢者の外出機会の拡大や社会参加の促進 ・暮らしやすい生活環境の整備		環境の発備	5 主体的な社会参加の 促進	・高齢者が地域社会に 主体的に参加できる環 境を整えます	指標9:会・グループ等への参加割合(上昇) H31>H28(51.9%)	(1)支え合い活動への参加支援 (2)生涯学習・スポーツ活動の推進 (3)就業機会の拡大
					6 暮らしやすいまちづくり の推進	・高齢者が地域でいきい きと暮らせる生活環境の 整備を進めます		(1)市民協働の推進 (2)安心・安全な生活の確保 (3)福祉のまちづくりの推進 (4)高齢者向け住まいの充実
【介護人材の状況】 集計中					7 介護保険サービスの 充実	・介護保険サービス基 盤の充実により日常生 活を支援します		(1)施設·居住系サービス基盤の整備 (2)介護給付等サービスの利用見込み (3)介護保険料
集計中 【ケアプランの点検件数】 H27 H28 16 6	・介護に携わる人材が不足している ・ケアプランの点検件数が不十分	・介護人材の確保 ・ケアプランの点検の充実		Ⅲ 安定した介護保険 制度の構築	8 介護保険制度の円滑 な運営	・介護保険制度の適正 な運営を進め,効果的・ 効率的な介護給付を実 施します	*た ( 1 <del>以</del> + 5 /	(1)情報発信の充実 (2)人材の確保および資質の向上 (3)事業者への支援・指導体制の充実 (4)低所得者向け施策の実施 (5)介護認定の公平性・公正性の確保 (6)介護給付適正化計画の推進